

コンパクトキッチン CS(ベースキャビネット) 取付・設置説明書

もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2～3
2. 取付・設置上のお願	
取付・設置上のお願	4
3. 取付・設置の事前確認	
(1) 設置部位の建築側の仕様確認	4
(2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認	4
(3) 建築側の間口・取合い寸法の確認	4
(4) 給湯水管・排水管・ガス配管・電気配線接続位置及び排気口・喚起口の位置確認	4
(5) 製品の荷受け確認	4
4. 取付・設置手順	
(1) キャビネットの設置（コンロ無しタイプのみ）	4
(2) 扉の調整方法	5
(3) 引出し前板の調整方法	6
(4) 排水管の接続	6
5. 組込機器の取付手順	7
6. 仕上げ	
(1) 設置部位の建築側の仕様確認	7
(2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認	8
7. 点検	
(1) 設置部位の建築側の仕様確認	8
(2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認	8
8. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	8
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	8
9. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	8

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はコンパクトキッチン（ベースキャビネット）のものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。

 **注意** この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

取付・設置上の注意

警告

- 製品は水平で平滑な壁面・床面にしっかりと固定する。

製品が倒れてけがをするおそれがあります。



- 製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。



- 電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。

火災・感電・ガス漏れ・水漏れのおそれがあります。



- ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱う時は必ず保護手袋をする。

ステンレスで手をけがするおそれがあります。



- キッチンに組み込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。

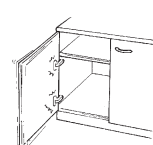
思わぬ事故や故障の原因となることがあります。



注意

- 取付・設置完了後は扉の傾き、がたつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。扉が傾いたり、がたついたりしている時は、丁番のネジをしめなおす。

使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。



- キャビネットに乗らない。

製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。



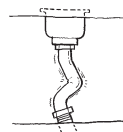
1. 安全上のご注意（続き）

⚠ 注 意

- 棚板を設置するときは棚受を隙間のないように根元まで確実に差込む。
棚板がはずれ、収納物が落下してけがをするおそれがあります。
- 排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行う。
水が漏れたり、湿気が上がり床が腐るおそれがあります。
- 取付設置に使われる溶剤、その他薬品類はそれぞれの注意表示に従って正しく使う。
誤った使い方をすると人体に影響が出たり使用部材の損傷や劣化の原因になります。
- 排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。

排水能力が低下して、シンクから水があふれて、床を汚すおそれがあります。
- 絶対に分解したり、修理・改造したりしない。
- コンロと接する壁面は、必ず不燃仕上げとする。

火災のおそれがあります。
- 壁がコンロと接する場合でやむを得ず壁面が可燃物の場合はキッチン本体を壁面から12mm以上離して設置し、別売の防熱板を取り付ける。
火災のおそれがあります。
- 別売のキッチンパネルで仕上げた場合でも、コンロと接する場合は、別売の防熱板を必ず取り付ける。
キッチンパネルに炎が直接当たって、変色するおそれがあります。

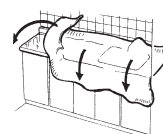


2. 取付・設置上のお願い

お 願 い

- 運搬中ぶつけないように注意してください。また運搬は2人以上で行ってください。
製品および周辺設備が破損したり、傷がつき、使用できなくなるおそれがあります。
- 設置中はワークトップにおおいをし、製品を保護してください。

くぎやネジ類が落ちてきた場合、表面に傷がつくおそれがあります。
- 清掃する場合は、台所用中性洗剤を使用してください。
その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



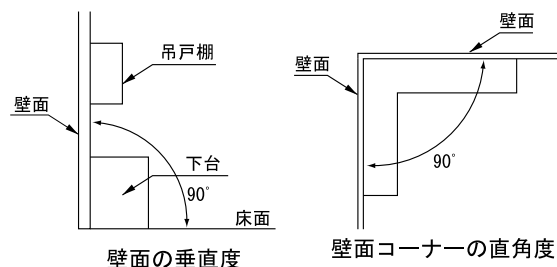
3. 取付・設置の事前確認

1. 設置部位の建築側の仕様確認

- ・ 製品搬入前に床面を仕上げてください。
- ・ 床面は製品の荷重に耐えられ、水平で平滑に仕上げてください。
- ・ 壁面がガス台と隣接する場合は、壁面は不燃仕上になっていることを確認してください。

2. 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認

- ・ 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルを確認し、床面上の木クズ・ゴミなどは取り除いてください。
- ・ キッチン本体を設置する床面及び壁面に凹凸があると、扉や引出しに段違いが生じますので、必ず平滑に仕上げてください。



3. 建築側の間口・取合い寸法の確認

- ・ 製品の設置場所の間口、取合い寸法を確認してください。

4. 給湯水管・排水管、ガス配管、電気配線接続位置及び排気口、換気口位置の確認

給湯管・給水管、ガス配管、電気配線接続位置及び排気口、換気口位置は別途取付・設置図を参照して、建て屋工事の段取りに合わせて工事依頼してください。

建築側排水管は床面より 60 ～ 80mm の間の寸法で立ち上げてください。

工事区分

警告

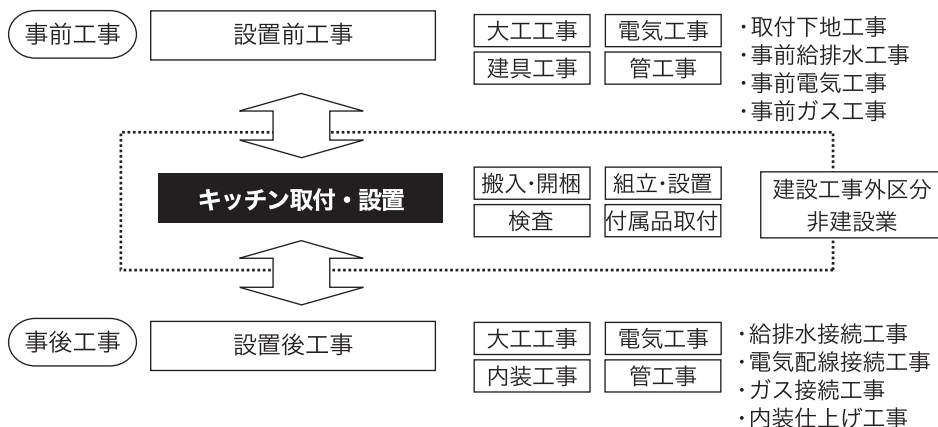
◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。

建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。

流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



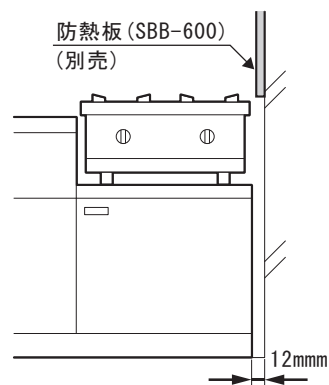
5. 製品の荷受け確認

注文通りの製品が納入されているかどうか、製品の損傷はないかなどの製品の荷受け確認をしてください。

4. 取付・設置手順

1. キャビネットの据付(コンロ無しタイプの場合)

- ・ 不燃仕上がりとなっている壁面に、キッチン本体のコンロ側が接するように設置してください。
 - ・ やむを得ず壁面が不燃仕様で無い場合は、別売の防熱板に付属のスペーサー(12mm)をガイドにしてキッチン本体を壁面から12mm離して設置し、別売の防熱板を取り付けてください。
 - ・ 別売のキッチンパネルで仕上げた場合は、コンロの熱で化粧面が変色する場合があります。別売の防熱板を取り付けてください。
- (注) キッチン本体設置後は、スペーサーを取り除いてください

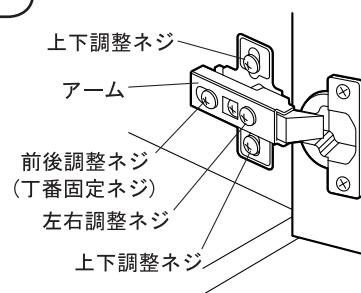


2. 扉の調整方法

① 左右傾きの調整をする場合

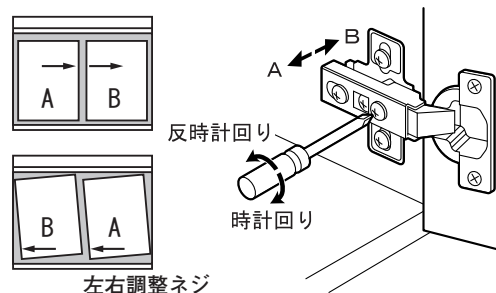
左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。

各部の名称



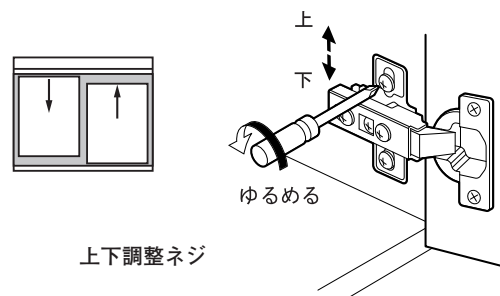
② 上下の調整をする場合

2ヶ所の上下調整ネジをゆるめます。扉を上下に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締めつけてください。



③ 前後の調整をする場合

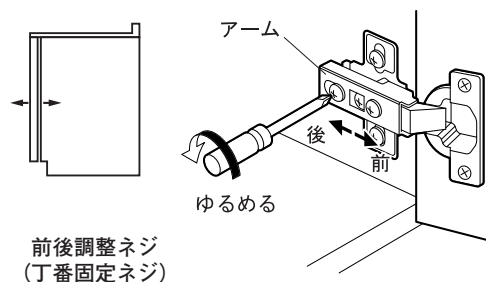
前後調整ネジをゆるめます。アームを前後に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締めつけてください。



⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。

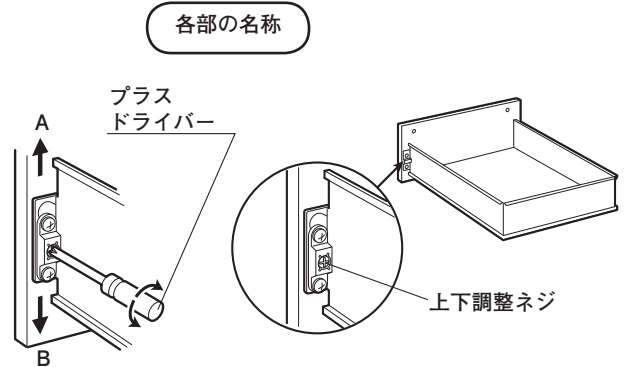


4. 取付・設置手順（続き）

3. 引出し前板の調整方法

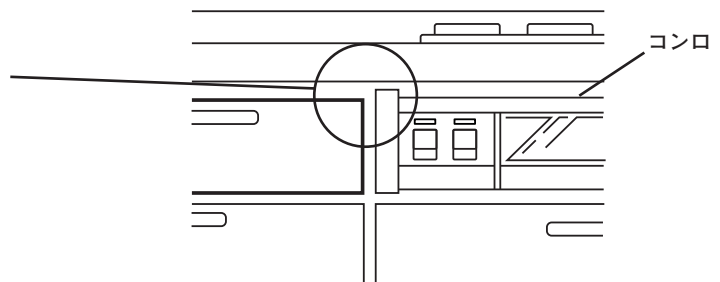
上下の調整をする場合

左右の上下調整ネジを回して調整を行います。
上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。



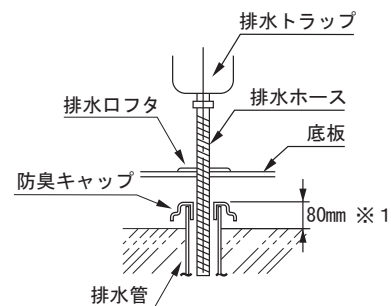
扉調整作業時のお願い

※コンロを設置する際、引出し前板上面とコンロ操作部上面の高さは合いませんが異常ではありません。



4. 排水管の接続

- ① 排水ロフトを底板から取り外してください。
 - ② 排水ホースに排水ロフト、防臭キャップを通し、建て屋側に立ち上げられている排水管に挿入してください。
 - ③ 排水管との接続部に防臭キャップをはめ込み、完全にシールしてください。
- 排水トラップと排水ホースの取付けの際は、十分に締め付けてください。締め付けが足りないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。
 - 防臭キャップ部のシールは完全にしてください。シールが不完全ですと湯気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生する原因になりますので、ご注意ください。



※1の立上げ寸法については、製品の高さにより変更してください。
最小で必ず60mmは確保してください。

⚠ 注意

- 排水管の立ち上げ位置は、別途取付・設置図により、位置決めを行う。

接続不良や排水能力の低下により、漏水やシンクから水があふれるおそれがあります。

- 排水管の接続後、水漏れのないことを確認する。

水漏れにより床が腐るおそれがあります。

5. 組込機器の取付手順

- 各機器の設置は、各々の取付・設置説明書に従って設置してください。

警 告

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程にしたがって必ず「有資格者」が行う。



火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。

注 意

組み込まれる機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

6. 仕上げ

●清掃

- (1) ステンレス部表面に貼り付けてある養生フィルムをはがしてください。
- (2) シンク内のゴミや異物を取り除いてください。
- (3) ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- (4) 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて、軽く拭いた後、水拭きしてください。
水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

注 意

固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は使ったり、近づけたりしない。



水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

通水後シンクの中の水滴を拭き取り、封水切れが無いか確認する。



シンク内の水垢付着や浄化槽の塩素ガス等が逆流し、孔食が発生するおそれがあります。

お 願 い

清掃する場合は、台所用中性洗剤を使用してください。

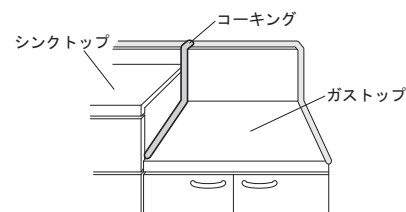
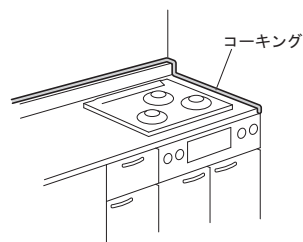


その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。

6. 仕上げ（続き）

●仕上げ（コーキング）

- (1) キッチン本体と壁面のコーキング
キッチン本体と壁面が接する部分は必ずコーキング処理してください。
- (2) シンクトップとガストップ接合部のコーキング
(コンロ無しタイプのみ)
シンクトップとガストップの接合部分はクリヤーのコーキング剤で必ずコーキング処理してください。



⚠ 注 意

●コーキング処理はすきまのないよう確実に行う。

コーキング処理が不完全ですと、すきま部分より水や油などが浸入し、キャビネットが腐食するおそれがあります。



7. 点検

●安全点検

- (1) 設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- (2) 扉や引出し前板に傾きがないこと、がたつきや緩みのないこと、及び正常に作動することを必ず確認してください。

●組込機器の試運転

製品に組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法、または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

8. 完了後の処置

1. 商品の養生について

- ・製品および組込機器などは、お引渡しまでの間キズ、汚れがつかないように覆いをしておいてください。

2. 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

9. 残材処理

1. 梱包材その他残材の処置

- ・不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。

株式会社 ハウステック

〒173-0004 東京都板橋区板橋3-9-7（板橋センタービル）
☎(03)5248-5500

L34S0637KI